

特に記載がない場合の受付時間は土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時。
申込みの記載がない場合は直接会場へ。費用の記載がない場合は無料です。

令和8年度 健康づくり標語募集

※応募作品の著作権は羽村市に帰属します。

応募先・問合せ 健康課（保健センター）
内)④627 FAX 554-4767
✉ s30500@city.hamura.tokyo.jp
丁205-0003羽村市緑ヶ丘5-1-2 羽村市保健センター 健康づくり標語担当 宛



▲東京2025デフリンピック大会（観戦案内）

優秀作品は、健康づくりの普及啓発などに活用します。

応募資格 市内在住の方

応募作品 1作品40字以内、1人3作品まで

応募方法 11月28日(金)まで（必着）に、作品と必要事項を、下の申込フォーム、ファックス、Eメール、郵送または直接、保健センターへ



▲申込フォーム

【必要事項】作品・住所・氏名・電話番号※Eメールで応募するときは、本文に「必要事項」を記入してください。

応募用紙配布場所 市役所1階案内、保健センター、プリモライブラリーはむら、プリモホールゆとろぎ、S&Dスグプラザ羽村、コミュニティセンター、いこいの里、福祉センター

※応募用紙を使わなくても応募できます。

発表 広報はむら令和8年3月15日号※作品は未発表のものに限ります。

※匿名による応募は無効です。

農ウオークに参加して、おいしい収穫してみませんか

市内の農地を歩いて見学しながら、農家の方の話を聞き、収穫体験を行うことができるツアードです。

日時 11月28日(金)午前9時～午後1時（小雨中止）

集合 S&Dスポーツアリーナ羽村

対象 市内在住・在勤の方（1回の申込みで4人まで）

費用 30人（申込多数の場合抽選）

定員 1人1,000円（当日支払ってください）

持ち物 軍手、飲み物、汚れてもよい靴

申込み 11月14日(金)午後5時までに、下の申込フォームから

問い合わせ 産業振興課農政係④663



▲申込フォーム



東京2025デフリンピックのキャラバンカーがやってきます！



デフリンピックとは、デフ（Deaf:英語で「耳が聞こえない」という意味）+オリンピックで、国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」です。国際ろう者スポーツ委員会が4年毎に開催します。東京2025デフリンピックは100周年の記念すべき大会であり、日本では初めての開催です。

現在、日本全国を走っている東京2025デフリンピックキャラバンカーが、羽村市にもやってきます！世界に広がる「デフリンピック」を応援しましょう。はむりんも応援に来ます！

東京2025デフリンピック

期間 11月15日(土)～26日(水)
競技場 駒沢オリンピック公園総合運動場など19会場
競技数 21種目
参加国 70～80か国・地域
参加選手数 約3,000人



東京2025デフリンピックは、事前の申込みなく、どなたでも無料で観戦できます！競技日程や、大会開催期間中の各会場の混雑状況など、大会に関する情報は上の二次元コードから！

パパママ講座 第3弾



家族であそぼー！

健康

家族介護者リフレッシュの会

認知症等の家族を介護している方の交流会です。日々の思いや迷いを共有しませんか。介護支援の専門職が皆さん思い寄り添います。

日時 11月21日(金)午前10時～正午

会場 五ノ神会館

定員 10人

申込み・問合せ 地域包括支援センターあかしあ 578-15508

知つておきたい唾液パワーカー

口腔ケアで若返り

①家族みんなでできる遊びの実践

②子育てに関する悩みや子育て情報の共有

③男女共同参画の考え方の紹介

講師 市内男性保育士の会「ホップの会」所属保育士

申込み・問合せ 11月4日(火)～21日(金)に、下の申込フォーム、Eメール、電話または直接、こども家庭センター子ども家庭支援係(保健センター2階)へ

✉ 578-28882
jp kosodate-soudan@city.hamura.tokyo.jp



▲申込フォーム

クリスマスにもぴったり！ クラダ塾 ゆるっと減塩メニュー

年末年始のイベントを楽しみながら高血圧の予防にもなる、おいしいレシピを紹介します。

日時 12月10日(水)午前10時～午後0時

会場 プリモホールゆとろぎ講座室1

定員 50人（申込順）

内容 健康講座、調理実習、個別相談（希望者は電話で、健康課（保健センター）内）

申込み・問合せ 11月4日(火)から、Eメールまたは電話で、健康課（保健センター）内）

子宮頸がん検診を無料で受診できるクーポン券を送付しています

有効期限 令和8年2月28日(土)



▲市公式サイト

11月は子宮頸がん予防啓発月間

子宮頸がんは、20歳から増え始め40歳代がピークのがんです。若いうちから2年に一回、検診を受ける習慣をつけましょう。

対象 市内在住の20歳以上の女性で、月1日生まれの女性

有効期限 令和8年2月28日(土)

問合せ 健康課（保健センター内）内)④625

内)④625
✉ s30500@city.hamura.tokyo.jp

※Eメールで申し込む場合は、本文に「①氏名②年齢③日中連絡のつく電話番号④住所」を記入してください。



◀市公式サイト